

特殊小型船舶操縦士学科試験

問題	
----	--

受験番号	
------	--

【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	全科目 (問1～問40)	50分
一級、二級	運航 (問23～問40)	20分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(特殊小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 陸上交通と比べた場合の水上交通の特性について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

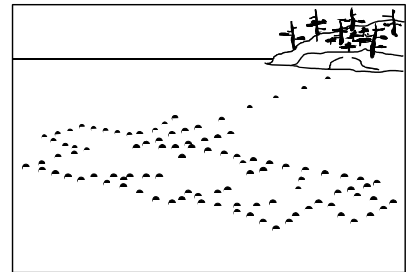
- (1) 水上では、外力の影響により同じ位置にとどまることが陸上ほど簡単ではない。
- (2) 水上は見通しがよいので、周囲の安全確認が陸上ほど重要ではない。
- (3) まわりに他の船舶がいなければ、どこでも高速で航行することができる。
- (4) 陸上と同じようにガソリンスタンドがあちらこちらに設置されている。

問2 航行中の大型船の特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 小型船舶^{せんそく}に比べて舵効^{かじき}きが悪く、また、すぐに停船することができないなど操縦性能が低い。
- (2) 船側^{せんそく}に近づく船舶に対して反発作用が働くため、横に並んで航行する小型船舶とは、一定の間隔を保つことができる。
- (3) 喫水が深いため水深の浅い水域を航行できないなど、小型船舶と比べて航行できる水域が制限される。
- (4) 船首前方の死角が大きく、船首部のすぐ近くを航行する小型船舶をほとんど視認できない。

問3 下図は、定置網^{ていちあみ}が設置されている水域の、水面上の様子を示した略図である。このような漁具に対する注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 陸岸に向かって設置されている網のブイとブイの間は、高速で航行することができる。
- (2) 設置されている場所は、地元の漁業協同組合やマリーナなどに問い合わせれば分かる。
- (3) 定置網の中に入って釣りをする場合は、網やアンカーロープに注意する。
- (4) ブイに係留する場合は、複数のブイにロープをかけるようにする。



問4 プレジャーボートの乗揚げ事故の発生原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 水路調査不十分
- (2) 船体点検不十分
- (3) 船位不確認
- (4) 見張り不十分

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 船舶検査証書を自宅に保管して航行した。
- (2) エンジンを乗せ換え、臨時検査を受けて航行した。
- (3) 船舶検査手帳を船内に備えたまま航行した。
- (4) 船舶検査済票を両船側^{せんそく}に貼り付けて航行した。

問6 ダイビング中の船舶に対する注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ダイビング船には必ず警戒船が付き、ダイバーの上を絶えず旋回している。
- (2) 船長自らが潜っていて、ダイビング船には誰もいない場合がある。
- (3) ダイビング中の標識として、「A旗」を掲げている場合がある。
- (4) ダイビング船から離れた場所にダイバーがいることもある。

問7 航海計画を立てるときの注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料の消費量はいつも一定ではなく、水域の状況によって変わること。
- (2) 荒天となった場合に避難できる港や施設をあらかじめ調べておく必要があること。
- (3) 複数の船で航海する場合、速力や航続距離などの性能は船によって異なること。
- (4) 慣れ親しんでいる水域であれば、海図などによる事前の調査は必要ないこと。

問8 小型船舶における事故発生時の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) まず自分自身で、全力を挙げて応急処置をとる。
- (2) 救助が必要な場合には遭難信号を行い、付近の船舶に救助を求める。
- (3) 緊急通報は、海上では海上保安庁に行き、湖や川では警察に行く。
- (4) 他船の事故を目撃したときには、現場に急行して、まず船体の安全確保に努める。

問9 小型船舶の船長の遵守事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 発航前に燃料及び潤滑油じゆんかつゆの量を点検すること。 (船舶職員及び小型船舶操縦者法)
- (2) 酒に酔った状態びようはくであっても、有資格者である船長が操縦を行うこと。
- (3) 航行中も錨泊中もいつでも適切な見張りを行うこと。
- (4) 操縦する小型船舶に差し迫った危険があるときは、人命の救助に必要な手段を尽くすこと。

問10 二級小型船舶操縦士の資格で航行することができる区域として定められているものは、次のうちどれか。 (船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 平水区域のみ
- (2) 湖や川及び海岸から2海里以内の水域まで
- (3) 平水区域及び海岸から5海里以内の水域まで
- (4) 海岸から20海里以内の水域まで

問11 船舶検査証書に記載されている事項は、次のうちどれか。 (船舶安全法)

- (1) 航行区域
- (2) 船長名
- (3) 機関の製造者
- (4) 所有者の住所

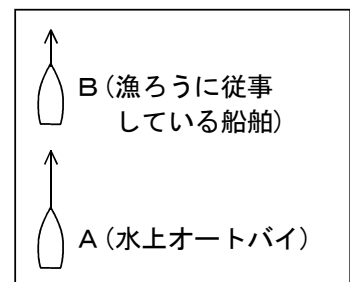
問12 日本国内で販売するマリンガソリンエンジンを対象として、日本の業界団体が行っている排出ガス規制について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 規制の対象となっているのは、水上オートバイのエンジンだけである。
 - (B) 規制により、4ストロークガソリンエンジンや環境対応型の直噴式2ストロークガソリンエンジンに順次切り替わっている。
- (1) (A)だけ正しい
 - (2) (B)だけ正しい
 - (3) ともに正しい
 - (4) ともに誤っている

【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越す場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) AはBの動きを確認するため速力を上げてBに近づく。
- (2) Bは針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (3) AはできるだけBのすぐそばを追い越す。
- (4) Bは操業を一時やめて、直ちに停船する。

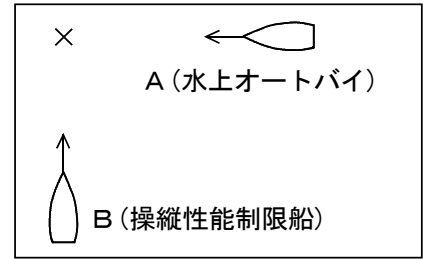


問14 横切り船の関係にある2隻の動力船のうち、避航船が保持船に対して、やむを得ない場合を除きとってはならない動作は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 針路を左に転じること
- (2) 船尾方向を横切ること
- (3) 船首方向を横切ること
- (4) エンジンを後進にかけること

問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (3) Aはできるだけ速力を上げて、Bの船首方向を横切る。
- (4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。



問16 見張りについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) エンジンを止めて漂泊しているときも行う。
- (2) 前方だけでなく、すべての方向に対して行う。
- (3) 船舶の通航が多い水域に差し掛かったら行う。
- (4) 視覚や聴覚など、そのときの状況に適したすべての手段により行う。

問17 右図に示すように、狭い水道等のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。 (海上衝突予防法)

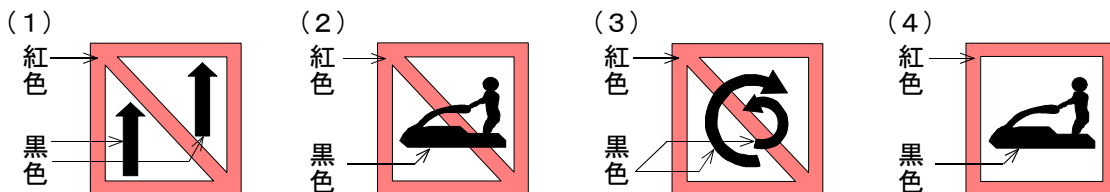
- (1) 水道等の右側端に寄って航行した。
- (2) エンジンを直ちに操作できるようにした。
- (3) 耳をすまし、見張りを厳重にした。
- (4) 短音2回の汽笛信号を繰り返し鳴らした。



問18 短音3回の汽笛信号を行っているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 針路を右に転じている船舶
- (2) 針路を左に転じている船舶
- (3) エンジンを後進にかけている船舶
- (4) 他船の動作が理解できない船舶

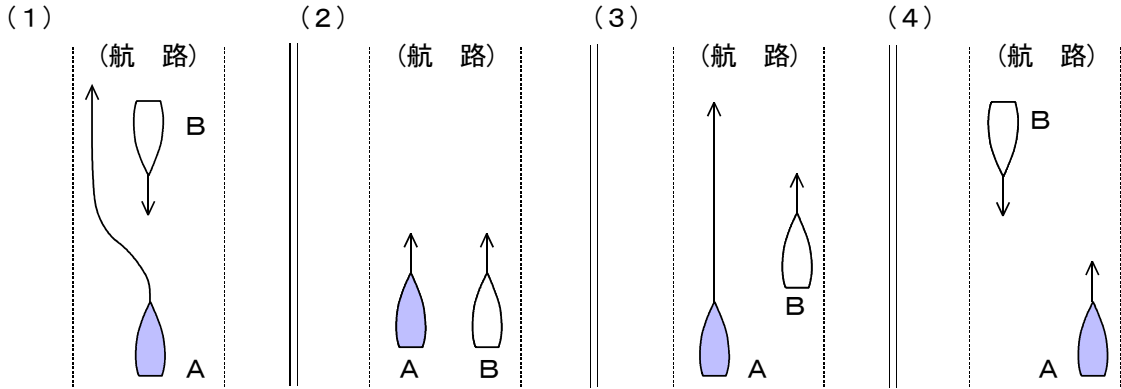
問19 次の河川通航標識のうち「水上オートバイ通航方法制限」を表すものはどれか。 (河川法)



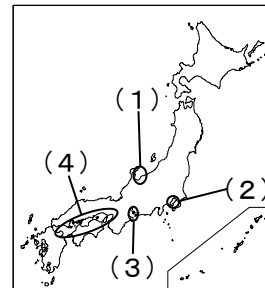
問20 港内における航法として誤っているものは、次のうちどれか。 (港則法)

- (1) 航路内では、人命救助のときや運転の自由を失ったときなどを除き、投錨してはならない。
- (2) 汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、入航船は、出航船の進路を避けなければならない。
- (3) 港内において、防波堤の突端を右舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。
- (4) 港内や港の境界付近では、12ノットを超える速力で航行してはならない。

問21 下図は、A船とB船が港内の航路を航行している状況を示したものである。A船の航路における航法として正しいものはどれか。 (港則法)



問22 右の概略の日本地図に示した海域(1)～(4)のうち、海上交通安全法が適用されない海域はどこか。



【運航】

問23 水上オートバイを操縦するときに着用するウェットスーツの効果として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 落水したときの衝撃やジェット噴流から身体を守ってくれる。
- (2) 浮力があり、ライフジャケットの代わりになってくれる。
- (3) 保温性があり、体温の低下を防いでくれる。
- (4) 肌の露出を抑えることで、直射日光から守ってくれる。

問24 ある地域の海岸や河川の一部といった、限定された水域を安全に利用するための取決めや各種の制限事項は、何によって定められているか。次のうちから選べ。

- (1) 道路交通法 (2) 海上交通安全法 (3) 船舶安全法 (4) ローカルルール

問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 方向転換中、旋回方向に素早く船首を向けるためには、スロットルレバーを離す。
- (B) 高速走行中、素早く速力を落とすためには、インペラを逆転させることにより、ジェット噴流を反転させる。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問26 ジェット噴流の方向を反転させるためのリバースゲートの操作は、何という装置によって行うか。次のうちから選べ。

- (1) シフトレバー (2) ハンドルバー (3) チョークノブ (4) スロットルレバー

問27 旋回方法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 低速時には、ハンドル操作は行わず、体重移動だけで旋回する。
- (B) 高速時には、体重移動を行いつつ、スロットルとハンドルを操作して旋回する。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

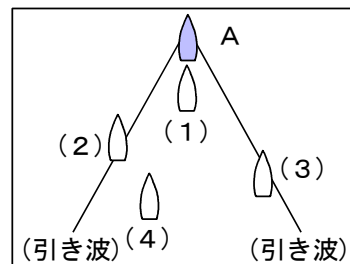
問28 走行中、前方のすぐ近くに浮遊物を発見してとっさにこれを避ける場合には、どのように操縦するのが最も適切か。次のうちから選べ。

- (1) エンジンを停止すると同時に体重を移動する。
- (2) エンジンを停止すると同時にハンドルを操作する。
- (3) ハンドルを操作すると同時に身体を起こして減速する。
- (4) ハンドルを操作すると同時に体重移動しながら加速する。

問29 乗艇中の水上オートバイがエンジントラブルを起こし、他の水上オートバイに曳航される場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

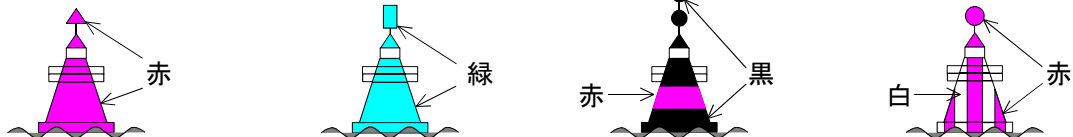
- (1) 必ず一人が乗艇し、バランスを取りながら引かれるようにする。
- (2) 曳航ロープを自艇のスターンアイに結び、船尾側から引かれるようにする。
- (3) シートを取り外して曳航する側に預け、できるだけ艇体が軽くなるようにする。
- (4) エンジンがかかっていないので、排水のためにドレンプラグを外すようにする。

問30 右図に示すように、走行中の水上オートバイ A の後方を走行するときは、図中(1)～(4)のうち、どのあたりに位置して走行するのが適切か。



問31 日本の浮標式によると、下図に示す標識のうち、出港するとき、その標識の右側に岩礁、浅瀬、沈船などの障害物があることを示すものはどれか。ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

- (1) (2) (3) (4)



問32 海図図式「Sh」(底質)が表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 貝殻 (4) 岩

問33 発航前の点検事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ハンドルバーやスロットルレバーに引っかかりがなく、なめらかに動くことを確認する。
- (2) ジェットインテークやジェットノズルなどにゴミがからみ付いていないことを確認する。
- (3) エンジンルーム内にビルジがなく、ドレンプラグが開いていることを確認する。
- (4) シートやハッチなどの開口部が閉じられ、確実にロックされていることを確認する。

問34 水上オートバイの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 水道ホースを洗淨用冷却水注入口につなぎ、注水できる状態にする。
- (2) 十分に水道水を注水してから、エンジンを始動する。
- (3) 水道水を出したまま、機種ごとの推奨時間に従いエンジンをアイドリング状態で運転する。
- (4) 水道水を止め、エンジンの空吹きをして冷却水路に残った水を排出した後停止する。

問35 走行中、突然推進力が低下する原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) インペラに異物があたり、一部が破損した。
- (2) ドライブシャフトに異物がからんだ。
- (3) ジェットインテークに異物が詰まった。
- (4) 冷却水点検孔に異物が詰まった。

問36 「霧」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ●
- (2) ●
- (3) ⊕
- (4) ⊗

問37 風について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 気圧の低い所から高い所へ向かって吹く。
- (2) 一般に、等圧線の間隔の広い所ほど強く吹く。
- (3) 風向は、風の吹いて行く方向で表す。
- (4) 風速は、通常、1秒間に空気が移動する距離で表す。

問38 潮流について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潮流は、干満差の大きい所よりも小さい所の方が強い。
- (2) 潮流の流向は、流れて行く方向で表す。
- (3) 満潮にともなう流れを下げ潮流、干潮にともなう流れを上げ潮流という。
- (4) 下げ潮流、上げ潮流になる時間帯は、全国ほぼ同じである。

問39 水上オートバイによる海難事故の種類とその防止対策を示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

- (1) 浸 水 …… 水上に降ろす前に、ドレンプラグを確実に閉めておく。
- (2) 衝 突 …… 他船を早期に発見するため、前方の見張りだけに集中する。
- (3) 運航不能(機関故障) …… 出航前の点検を適切に行い、浮遊物などは避けて走行する。
- (4) 乗 揚 げ …… 事前に航行する水域を調べておき、危険な水域へは近寄らないようにする。

問40 水上オートバイを使った人命救助の方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風向や流向を考えて、操縦しやすい方向から救助に向かう。
- (2) 要救助者に与える引き波の影響は考えず、素早い救助を心掛ける。
- (3) 艇体が傾き転覆する危険があるので、バランスを取りながら救助する。
- (4) 状況に応じてエンジンを停止し、要救助者を引き揚げる。